

りと見て氣をきかせたつもりであつた。

六 法面の保護

以前は盛土の法面には筋芝を、切取面には張芝を設計する事は普通であつたが、近來は工費節約の爲めか後者は殆ど省略される様である。其の爲に降雨に際會すると法面が崩壊して、思はぬ損害を蒙る事がある。夫れのみでは無く

通行者に殺風景の感を起させる。まして觀光道路でもあらゆるものなら、是れが爲に觀光の目的の一半を減殺せしめる。又法面の排水乃至は法りの上部地盤の排水も、路面排水と共に重要な事で、是れが往々にして等閑視され、夫れが爲に降雨等の場合に上部の地盤が道路に崩落して、交通を遮斷し不祥事を惹起した例がある。道路に水は鬼門である。

異動した府縣土木部課長評

路 政 僧

政變あるごとに事務官を異動せしむべきではないとは、常に在野黨と爲つた方面から唱導されてゐるが、矢張り自分が天下を取つて見ると、氣に喰はぬ者やら癢に觸る者やをさながら大根でも切るやうにバサ／＼と誅つて威力やらを示さうとする、之が從來から政民兩黨の内閣に於て繰返して來た猿の尻笑的行爲だ、尤も人間には能無能があるから

政變を機會に無能者を誅首することには何人も異論はない、併し整理の跡を展望して見ると定評ある無能者が起用されて有爲の人間が誅られてゐることもある、此様なことを繰返してゐては官界に人材を集めることが出来なく爲つて憂ふべき結果に陥る、何とかして此弊を救済しやうと言ふので、官吏の身分保證に關する法律を造ることまで考えた

人もあつた、併し之を考案した人自身が既に世上の非難を受けて人事を決定した人だから其の價値や知るべきのみである。或は理不盡な退官處分に對しては出訴の途を開いて救済しやうとする考案もあるらしいが、出訴を審議する連中が既に時の内閣の願使に甘じてゐるので之も亦形式的な救済に終ること必定だ、今のところでは官吏組合を設けて主務大臣の任免上奏權能を制限することに在るのだが、之も容易に出來そうにも無い矢張り強い者には敗けるより外ない有様だ。

× ×

此弊害が漸次官界の各方面に侵入して技術官にまで及ぶやうに爲つた、技術を主管する役人は政治とは何等關係がない筈だ、若し政治の關係を考慮して技術の可否を決定するやうに爲れば技術の神聖は維持されるものではない、併し行政の實際は此技術官に行政事務を擔任せしめてゐる、技術官の方面からも行政事務を擔任したいと言ふ要求があるので、こゝで事務と技術との兩性的な役人が認められ、

行政事務擔任の方面から事務官視され矢張り政變がある度に異動せしめらるゝやうに爲つた、或人は技術の神聖に立脚して技術官の異動を非難する人もある、併し夫れは技術官が行政事務の方面へ顔や手を出さないと云ふことを前提としてならば首肯出來るが、行政事務を擔任しつゝ主張する要求とすれば理窟が無いことに爲る、で此度の政變で行はれた技術官に府縣土木部課長の異動も強ち咎むべきでなからう。

× ×

大阪府土木部長澁江武君、長官柴田善三郎の退官と同時に辭表を提出して柴田に殉じた、會て筆者は彼が部長に爲つたとき、此度こそは行き先が無いぞと豫言して置いたが、矢張り其の通りに爲つたに過ぎない、斯く豫言せしめたのは彼が福岡縣技師時代に柴田に見出されてから、柴田の影のやうに爲つて引張られたからだ、或者は彼の此度の行爲を非難し、技術官が何も好んで長官に殉ずる必要はない、澁江は惡例を造つた、と憤慨するが、兩者間に結ばれ

の縣會議員とは違つて眼の光る大阪府會議員が居る、之を彼の政治的手腕でチャーム出来るかドーかも亦疑問だ、夫ればかりではない、近頃の大阪は昔の夫れと違つて道路の改良、地下軌道の敷設、等々と陸上交通機關の改善が八ヶ間敷要求されてゐる。是等を處理するには技術上餘程の苦心を要する、彼の政治的行動？ は既に價評されてゐるか。此度こそは、技術家の眞髓を發揮することが、彼をして將來大阪市に於て活動せしむる因と爲るであらう。

× ×

兵庫縣土木部長に爲つた吉岡計之助君、大正三年組がまだ土木課長として各地にごろ／＼してゐるとき、四年組の彼が部長に榮進したのは醒惰の感がする、之でこそ政府が聲明する人材拔擢主義に則つた人事と言つて可いだらう。彼は寡言で無駄なことを言はないが、底力のある男だ、當初靜岡縣土木課長に爲つたとき彼の手腕を疑つた人も、今は前言を取消して賞えてゐる。靜岡縣の道路殊に東海道の難所が改良されたのも彼の力に負ふ所が頗る多い、此功績

が認められて今日の榮進を見るに至つたのであらう。

彼は技術の神聖を維持することに於て硬骨である、曾て知事鵜澤憲が工事費節約の爲に請負に附する工事の豫定額の低下を命じたが、彼は時價に依つて設計した設計金額を無暗に低下出来得るものではないと容易に聽き容れない、遂に知事の命に従はない部下は罷めて貰ふより外ない、と言ふ所まで論争した時に、彼は何時でも退官すると啖呵を切つたが、併し長官、夫れ程節約が必要なら總ての工事を競争入札に附しなさい、と教えて遂に双方の目的を達したと言ふ逸話も持つてゐる、鵜澤知事は、此一事から彼を無暗に信用したものだつた、夫れ位の硬骨漢である。

彼は部下の面倒を能く見る、確か白根知事時代のことであつただらう、前内閣時代に各課の主任屬を勤めた者は、何人であらうと總て誠首すると嚴命したとき、彼は部下を清水築港に通して其の命を助けたと言はれてゐる、人員整理を餘儀なくされてゐる靜岡縣土木課は、彼の榮轉に依つて一大衝動を受くるであらう。



君 岡 吉

行く先兵庫は、彼の好きな酒の産地だ、大に痛飲して腕を振ふのも良からう、併し政民兩黨の争は静岡の比ではない、其の管内も太



君 村 木

見るに至つたのであらう。彼は土木主任官中での色男でハイカラだ、併し夫れが彼の心裡を裏切つて誤解され、色々の噂を生む原因

平洋から日本海へ抜けてゐる大縣で、表と裏の人情風俗は相反してゐて統治頗る困難だ、併し彼の純真な技術的考察に立脚して行政すれば、必ずや静岡で受けた好評を再び受くるのは必定だ、好漢自重せよ。

× ×

吉岡君の後を繼いだ木村憲七郎君、永らく富山の片田舎に燻つてゐたが、辛棒すりや功績も認められるもので、今度には東海道に進出した譯だが、矢張り適當な榮轉だ、彼は曾て山縣治郎が廣島縣知事の時代に可愛がられ、遂に歐米各國の視察にまで行つたが、歸朝以來餘り香しくなく悶々の裡に暮したが、富山では例の庄川に於ける發電水利事業の問題で人知れず苦勞したものだ、其の酬で今回の榮轉を

を造つてゐる。併し自然の大制裁には抗し兼ねると見え、近頃は美鬚にもチヨイ／＼白いのが見えて色男にも秋が來だしたやうだ、之で彼も純真堅實な技術官に成り立つてあらう。

静岡は自然に恵まれた地だ、併し山間部の交通機關が不完全で之を整理せなければ自然の賜を利用することが出来ない、聞けば近く交通委員會を設けて對策を樹てるそうだが、彼が歐米視察に於て得た識見を表明するのも此時であらう、一層勉強して此度の轉任を意義あらしむることが肝要だ。